

よんでネット*

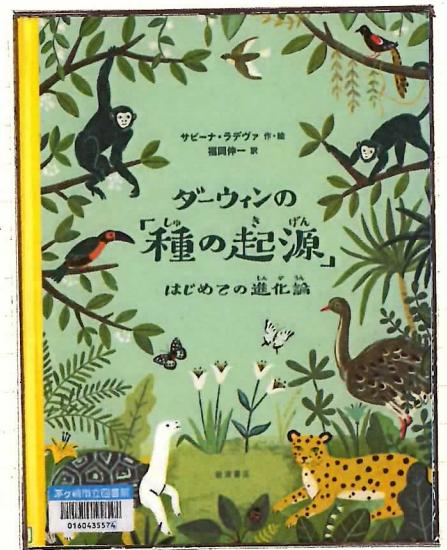
春号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「ダーウィンの「^{しゅ}種の^き起源^{げん}」 はじめての^{しん か ろん}進化論」

サビーナ・ラデヴァ 作・絵 福岡伸一 訳

進化とは、生きものが時とともに変わっていくこと。それは「^き樹^き」が枝分かれして成長していくのに似ている。人間とクジラとカエルが5本に分かれた指の骨をもっているのは、進化の「^き樹^き」の中で同じグループにいたことを示している。どんなふうに進化するのか？なぜ進化するのか？この本では、ダーウィンの「種の起源」に最新の情報を入れて説明してくれる。



岩波書店〔46ラ〕



講談社
(913ト)

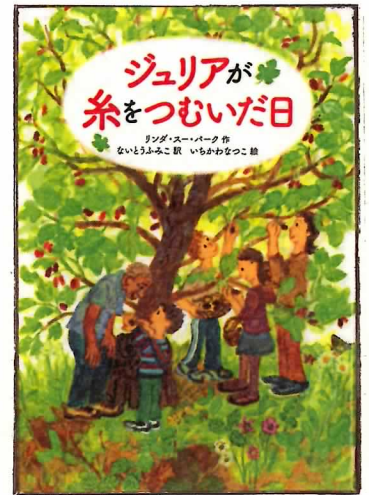
「ゆかいな床井くん」 戸森しるこ 著

^{とこい}床井くんは、明るくてよくしゃべるクラスの人^{にんき}気者^{その}。ちょっと変わっているけどね。^{だま}黙^{だま}ってさえいれば、そこそこカッコいいのに…。腕にバッタをつけてきて「これ、スタバッタ。スターバックス前でくっついたから。」って得意顔。私、^{みけた}三ヶ田^{こよみ}暦^{こよみ}のことを「ミケ」と、勝手に呼んでくる。でもそれ、じわじわうれしい。床井くんのことが好きな^{こよみ}暦^{こよみ}から見た、6年2組の一年間。

「ジュリアが糸をつむいだ日」

リンダ・スー・パーク作 ないとう ふみこ 訳
いちかわ なつこ 絵

7年生のジュリアは、韓国系アメリカ人。子どものころ韓国でカイコを飼ったことがあるという母さんの提案で、親友のパトリックといっしょに、カイコを育てて生糸をとり自由研究をすることになった。パトリックはがぜんやる気だが、ジュリアは気乗りがしない。でも、飼ううちに、だんだんカイコがかわいくなってきた...?



徳間書店
{ 933 110 }



河出書房新社 (287)

「世界一 おもしろい 国旗の本」

ロバート・G・フレッソン 絵と文 小林玲子 訳

いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが幕を開ける。国旗を掲げ、世界の国々から人々が集まる。どれ一つとして同じ国旗はない。しかし、デザインが似ているものはたくさんある。三色旗 縦じま 横じま 月 星 太陽...。それには、理由がある。色やデザインには込められた思いがある。知れば なつとく! その国の歴史もわかるよ。

「ヘレン・ケラーのかぎりない夢」

見る・聞く・話す・読む・書く・学ぶ 夢に挑戦した生涯

ドリーン・ラパポート 文 マット・タヴァレス 絵
もりうち すみこ 訳

1歳7ヶ月の時、高熱を出し視力と聴力を失ったヘレン。それからは闇と沈黙の中で暮らしていた。7歳の時、サリバン先生と出会い初めて言葉を学ぶ。「この世界にことばがあることを知って、わたしのすこましいは目ざめました。光と希望とよるこびを得て、闇から解き放たれたのです。」ハンディを持ちながらも、ユーモアと勇気を持って生きたヘレン・ケラーの伝記絵本。



国土社
{ E・絵本のコーナー }